NEC

ユーザーズマニュアル

目次 CONTENTS

853-811064-018-A
2010年6月　2版

このマニュアルの表記について

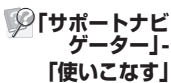
◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記号	意味
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。
メモ	参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

表記	意味
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、タスクバーの(サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。
「サポートナビゲーター」-「使いこなす」	「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています。

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

Windows 7 Starterモデル	Windows 7 Starterがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデル	Office Personal 2007 2年間ライセンス版が搭載されているモデルのことです。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆OSの違いについて

Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premiumでは、機能に違いがあります。詳しくは、Microsoftのホームページでご確認ください。

◆マニュアルの画面について

画面の表示は、選択したOSによって異なります。添付のマニュアルとは、表示が異なる場合があります。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007 2年間ライセンス版 ※Microsoft® Office 2007 Service Pack 2をインストール済み
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2010

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分	
		OS	添付ソフト
LaVie Light	BL530/AS6□ (PC-BL530AS6□)※1	Windows 7 Home Premiumモデル	−
	BL350/AW6□ (PC-BL350AW6□)※1	Windows 7 Starterモデル	Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデル

※1:本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

シリーズ名	カラー	型名(型番)
LaVie Light	アーバンメタルシルバー	BL530/AS6S(PC-BL530AS6S)
	フラットホワイト	BL350/AW6W(PC-BL350AW6W)
	パールブラック	BL530/AS6B(PC-BL530AS6B) BL350/AW6B(PC-BL350AW6B)
	シャインレッド	BL530/AS6R(PC-BL530AS6R) BL350/AW6R(PC-BL350AW6R)
	フレッシュライム	BL530/AS6G(PC-BL530AS6G) BL350/AW6G(PC-BL350AW6G)

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare^SM International Service]対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

■輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(ただし、海外保証サービス[NEC UltraCare[SM] International Service]対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

PART

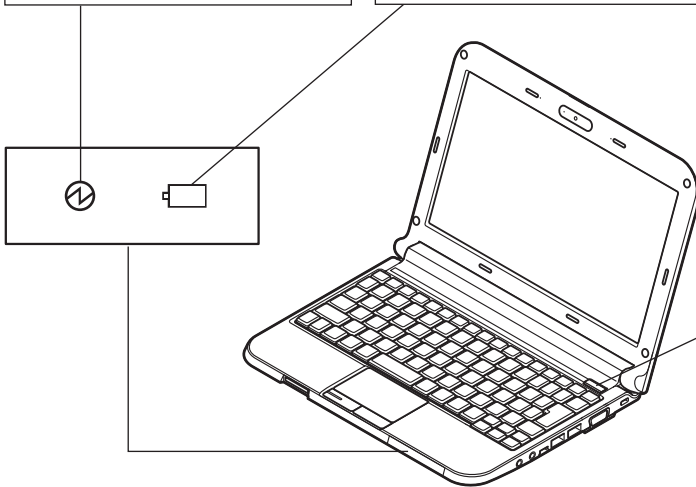
1

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

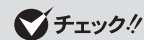
よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

参照

パソコン各部の説明について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」

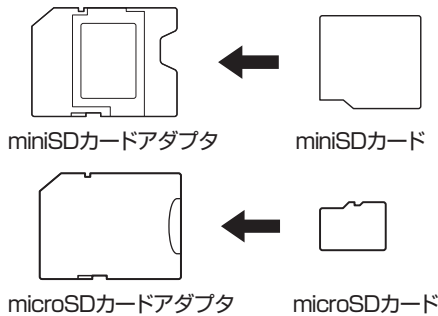
このほかに、【Fn】+【1】や【Fn】+【2】を押すだけでソフトが起動できる機能があります。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、次のキー操作にWebブラウザを閲覧するソフトと電子メールのソフトが割り当てられています。

- 【Fn】+【1】…Windows Liveメールが起動します。Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデルの場合、はじめて【Fn】+【1】を押したときに選択した電子メールソフトが起動します。
- 【Fn】+【2】…Internet Explorerが起動します。

チェック!!

Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデルでは、はじめて【Fn】+【1】を押したときには、登録できるメールソフト(「Microsoft Office Outlook」、「Windows Liveメール」)を選択する画面が表示されます。お使いになるメールソフトを選択すると、【Fn】+【1】に割り当てられます。

SDメモリーカードの扱い方

このパソコンで使えるSDメモリーカードの種類や取り扱い上の注意、SDメモリーカードのセットのしかたを説明します。

このパソコンでは「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」を使うことができます。「miniSDカード」、「microSDカード」も市販のアダプタを利用することで使用できます。
miniSDカード、microSDカードは必ず市販のアダプタにセットしてから、スロットに差し込んでください。

チェック!!
- 必ずアダプタにセットしてから使用してください。市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。
- 各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。

SDメモリーカードの取り扱い上の注意

- Windows上でSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグをおこなわないでください。
- SDメモリーカードにデータを保存中または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。また、データの保存中はスリープ状態や休止状態にしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「SDメモリーカードスロット」をご覧ください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。メモリーカードの説明書をよく読んでから使用してください。
- 「SDXCメモリーカード」の動作確認済みカードに関しては、次のホームページをご覧ください。
  http://121ware.com/catalog/taioukiki/
- 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカードを読み込めない場合は、メモリーカード内のファイルに対応するソフトがパソコンにあるかを確認してください。携帯電話の機種やダウンロードサービスの種類によっては、専用のソフトをパソコンにインストールする必要があります。

・ 携帯電話からメモリーカードにダウンロードした音楽データなどは、エクスプローラなどからパソコンにコピーしても利用できないことがあります。携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。
・ 誤った操作による故障やメディアの取り出しは有償となりますのでご注意ください。
・ その他の注意事項については『安全にお使いいただくために』の「■メモリーカード取り扱い上の注意」をご覧ください。

SDメモリーカードの取り付け方と取り外し方

●SDメモリーカードを取り付ける方法

1 **SDメモリーカードの向きに注意して、SDメモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む**

表面を上にして差し込んでください。

チェック!!

・「miniSDカード」、「microSDカード」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、SDメモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
・ SDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SDメモリーカードの説明書をご覧ください。
・ メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「SDメモリーカードスロット」をご覧ください。

●SDメモリーカードを取り外す方法

1 **画面右下の通知領域にあるをクリックして表示されるまたはをクリックすると表示される「××××の取り出し」で、取り外す機器名をクリックする**

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

2 **SDメモリーカードを軽く押す**

SDメモリーカードが少し出てきます。

3 **SDメモリーカードを水平に引き抜く**

チェック!!

・ SDメモリーカードスロットアクセスランプ( )点灯中は、SDメモリーカードスロットに差し込まれているSDメモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。
・ miniSDカード、microSDカードなどのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

インターネットに接続するには

このパソコンでインターネットを利用するために必要な準備を説明します。

インターネットを楽しむための準備

このパソコンでインターネットを楽しむには、次の準備が必要です。
ご家庭で、現在インターネットを利用していない場合は、各回線業者、プロバイダに申し込みをしてください。

●インターネット回線

FTTH、ADSLなどのインターネット回線が必要です。
ご家庭にインターネット回線が無い場合は、回線業者との契約が必要です。

●プロバイダとの契約

プロバイダ(インターネット接続業者)との契約が必要です。
まだ契約をしておらず、特にプロバイダを決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。

チェック!!
このパソコンでは、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続することはできません。
現在、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続している場合、契約の変更などが必要になります。

接続設定の進め方

インターネット接続の方法によって、接続、設定方法が異なります。
このマニュアルでは、FTTHの回線を使い、ワイヤレスLANでインターネット接続する場合を例に説明しています。有線LANでインターネットに接続する場合は、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「LAN」をご覧ください。

設定に必要なもの

ワイヤレスLANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

●回線終端装置

●ワイヤレスLANアクセスポイントまたはワイヤレスLANルータ

このパソコンでは、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、およびIEEE802.11n(2.4GHz)に対応しています。

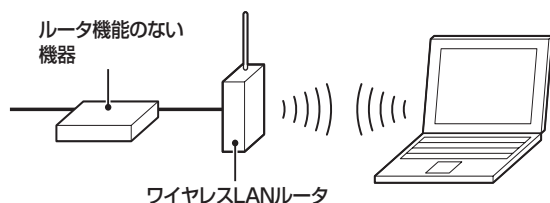
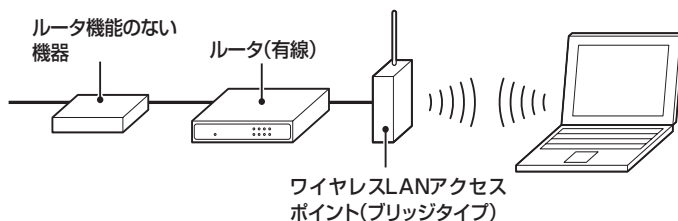
このマニュアルでは、ルータが接続されている例を使って説明します。

チェック!!

- お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。お使いの機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどで設定を確認してください。
- 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

機器を接続する

回線終端装置とネットワーク機器を次のように接続してください。

回線終端装置の場合

回線終端装置とルータを有線で接続する場合

接続が終わったらパソコンの設定を変更します。

チェック!!

- 詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。
- プロバイダから送られてくる接続機器にルータ機能が内蔵されている場合、ルータの設定が不要な場合があります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認してください。

ルータの設定をする

はじめてインターネットに接続する場合は、ルータにプロバイダから送られてきた接続情報が設定、登録されていないと、インターネットに接続できません。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧になり設定してください。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする

ワイヤレスLANの接続と設定をおこないます。

プロバイダとの契約やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。
ここでは、ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合を例に説明します。有線LANでインターネットに接続する場合は、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「LAN」をご覧ください。

チェック!!

- CATV接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。
- 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

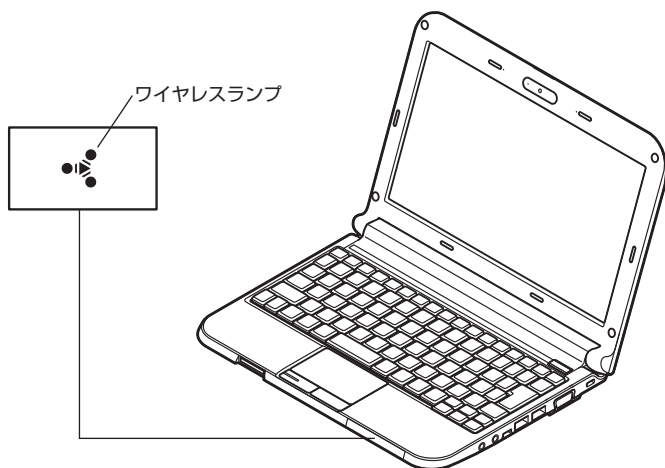
アクセスポイントの情報を確認する

パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、WEPキー（セキュリティキーまたはパスフレーズ）が必要になります。設定を確認して次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名(SSID)

WEPキー(セキュリティキーまたはパスフレーズ)

ワイヤレスLAN機能をオンにする

キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオンになり、ワイヤレスランプが点灯します。

・ご購入時の状態では、ワイヤレスLAN機能はオフになっています。
・ワイヤレスLAN機能がオンのときは、ワイヤレスランプが点灯します。
・もう一度キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスランプが消灯します。

チェック!!
ワイヤレスLAN機能がオフになっていると接続できません。

IEEE802.11nで接続する場合の注意

IEEE802.11n規格によるワイヤレス通信をおこなう場合、ご購入時の設定では、2.4GHz帯の接続は20MHz幅で接続されます。40MHz幅で接続する場合は、次の手順で設定をおこなってください。

1 「スタート」-「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリック

3 「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイス マネージャー」が表示されます。

4 「ネットワークアダプター」の左にある ▷ をクリック

5 「Intel(R) Centrino(R) Advanced-N 6250 AGN」を右クリック

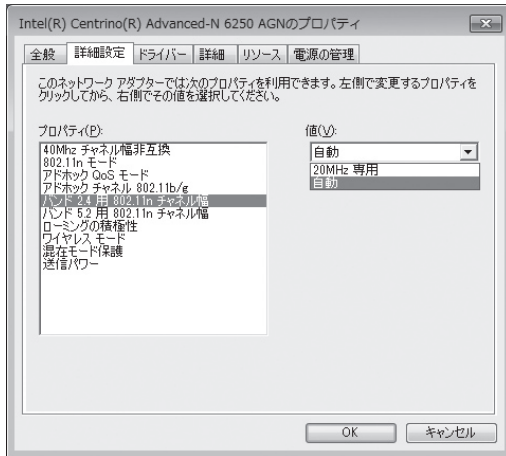
6 「プロパティ」をクリック

「Intel(R) Centrino(R) Advanced-N 6250 AGNのプロパティ」が表示されます。

7 「詳細設定」タブをクリック

8 「プロパティ」欄の一覧から「バンド 2.4用 802.11n チャネル幅」を選択する

チェック!!
40MHzは、接続するワイヤレスLAN機器のメーカーにより「デュアルチャネル」「倍速モード」「ダブルチャンネル」「ワイドバンド」などと呼ばれている場合があります。

9 「値」欄の右側にある ▾ をクリックして「自動」を選択する

10 「OK」をクリック

11 画面上の ✕ をクリック

12 画面上の ✕ をクリック

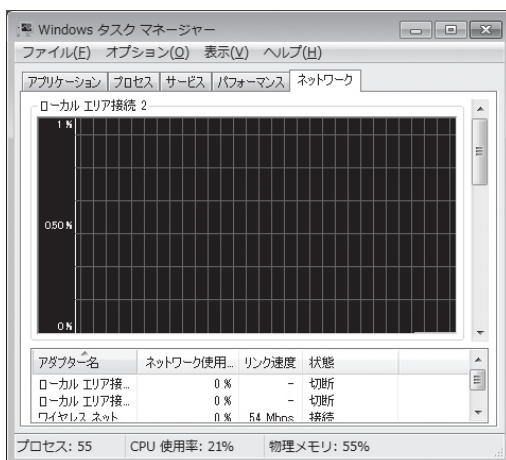
●40MHzでの接続が有効となっているかを確認する

1 ツールバーを右クリックし、表示されるメニューから「タスクマネージャーの起動」をクリック

「Windowsタスクマネージャー」が表示されます。

2 「ネットワーク」タブをクリック

「ワイヤレスネットワーク接続」の「リンク速度」の数値が、次の値に対応しているか、確認してください。

40MHz時	270/243/216/162/108/81/54/27 (Mbpsモード)
40MHz、Short GI有効時	300/270/240/180/120/90/60/30 (Mbpsモード)

40MHzで接続されない場合は、接続先のワイヤレスLAN機器の設定を確認してください。またご利用環境によって、40MHzに設定していても20MHzに制限される場合があります。

パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

コントロールパネルが表示されます。

2 「ネットワークとインターネット」をクリック

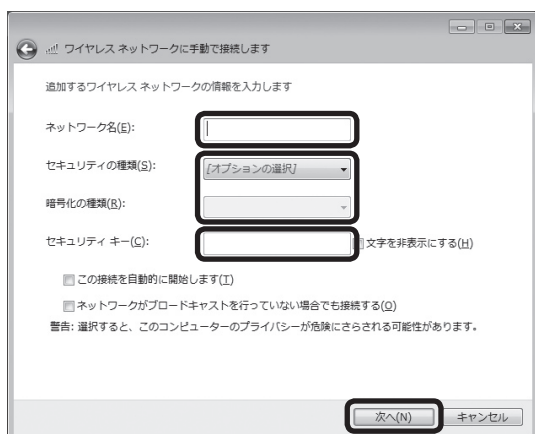
3 「ネットワークと共有センター」をクリック

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

4 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリック

5 「追加」をクリック

6 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリック

7 確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力し、「次へ」をクリック

8 「閉じる」をクリック

ワイヤレスLANが接続され、デスクトップ画面右下の通知領域に が表示されます。

「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。
タスクバーの (Internet Explorer)アイコンをクリックし、接続を試してください。

チェック!!

Windows 7では、ここで説明する方法以外にもワイヤレスLANアクセスポイントを自動でスキャンしてから接続する方法にも対応しています。

参照

ワイヤレスLANアクセスポイントをスキャンして接続する場合について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLANの設定」

チェック!!

ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

参照

ワイヤレスLANのセキュリティについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「セキュリティに関するご注意」

メールソフトを設定する

このパソコンには、メールをやりとりするためのソフトが用意されています。

ここでは、Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデルで「Outlook 2007」を使ったメール設定を説明します。

・ Outlookのセットアップ、インストールについての不明点はマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。お問い合わせ先については「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」の各ソフトの項目からご覧ください。
・ 使用する機器やプロバイダによっては、ここでの説明とは異なる設定が必要になることがあります。プロバイダの資料やホームページに設定例などが記載されている場合は、そちらもあわせてご覧になり、設定することをおすすめします。

設定に必要なもの

メールの設定には、次のものが必要です。

●プロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、メールで使用するユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手したメール設定用マニュアルなどがある場合、そのマニュアルにしたがって設定をおこなってください。

メールの設定をする

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Microsoft Office」-「Microsoft Office Outlook 2007」をクリック**

「Outlook 2007 スタートアップ」が開始されます。

2 **「次へ」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

チェック!!
メールソフトとして「Windows Liveメール」を使うこともできます。

参照
Windows Liveメールについて
→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「Windows Live(ウィンドウズ ライブ)メール」

4 自動アカウント設定のための情報を入力する

サーバーの自動アカウント設定に失敗した場合は、「サーバー設定または追加のサーバーの種類を手動で構成する」をクリックし、「次へ」をクリックします。次に「電子メールサービスの選択」の画面で「インターネット電子メール」を選択し、「次へ」をクリックします。表示された画面に情報を入力し、画面の説明を読んで設定します。

5 設定が終わったら「次へ」をクリック

サーバーの自動アカウント設定に失敗したときは、もう一度設定内容を確認し、「次へ」をクリックしてください。

6 「完了」をクリック

「完了」をクリックすると、「ユーザー名の指定」画面、「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」に同意する画面、プライバシーオプションを設定する画面やMicrosoft Updateを利用するための登録画面などが表示されます。説明をよく読んで、画面の指示にしたがって進めてください。
メールの使い方について詳しくは、Outlook 2007のヘルプをご覧ください。

メモ

「名前」に入力する名前は、日本語、アルファベット、どちらで入力してもかまいません。ここで入力した名前は、メールを送信するときに送信者として相手に表示されます。

チェック!!

パスワードは、プロバイダの会員証などを見て、メールパスワードとして記載されているものを入力します。

パソコンを安全に使うための設定をおこなう

コンピュータウイルスなどからパソコンを守るために気を付けたい点について説明しています。

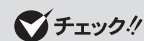
パソコンやインターネットを安全に使うために

パソコンの誤動作や内部のデータ破壊を引き起こす、ウイルスなどの不正プログラムの被害が多くなっています。電子メールのやりとり、インターネット経由のソフト入手、他人から受け取ったディスクの使用などが原因になって、知らないうちに不正プログラムがパソコンに侵入することもあります。これらの被害を防ぐには、定期的な対策が必要です。

パソコンをウイルスから守るために(1)

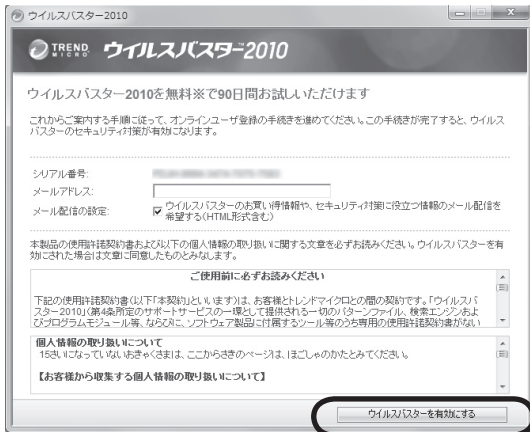
ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムのことです。インターネットやメールからパソコンに入り込んだり、CDやDVD、各種メモリーカードなどのメディアから感染する場合もあります。
ウイルスによる被害は、自分のパソコンのデータが破壊されたり個人情報が流出したりするだけでなく、ほかの人へ大量の電子メールが自動的に送信されることもあります。自覚がないまま加害者になり得る可能性もあります。

「ウイルスバスター」を最新の状態に更新する

このパソコンには、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」が入っていて、パソコンをウイルスから守ることができます。しかし、ウイルスは日々新しいものが出てくるので、新しいウイルスに対応するために、ソフトを常に最新の状態に更新(「アップデート」といいます)してウイルスチェックをしなければなりません。
このパソコンの「ウイルスバスター」では、ユーザー登録後はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料でアップデートをおこなうことができます。90日間の無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどで製品版を購入し、シリアル番号を入力していただく必要があります。
有料のサービスについて詳しくは、無料サービスの開始時に登録したメールアドレス宛に配信されるメールなどの案内をご確認ください。

チェック!!
アップデートするには、インターネット接続の設定が必要です。

アップデートのしかた

パソコンをご購入後、アップデートする場合は、まずインターネットに接続して、90日間無償サポートを受けるため、ユーザー登録をおこなう必要があります。

インターネット接続の設定が終わった後、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2010」-「ウイルスバスター 2010を起動」をクリックしてウイルスバスターを起動し、「オンラインユーザ登録/契約更新」欄の「アップデート機能を利用できません」をクリックします。
ユーザー登録の画面が表示されたら、記載内容をよく読み、必要事項を入力してから「ウイルスバスターを有効にする」をクリックしてください。

パソコンをウイルスから守るために(2)

ウイルスの侵入を常にチェックする

「ウイルスバスター」には、ウイルスの侵入を常に監視する機能があります。その機能を「ウイルス/スパイウェアの監視」といいます。「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの侵入が自動的に監視されます。
ご購入時の状態では、ウイルスの侵入を常に監視する(「ウイルス/スパイウェアの監視」が有効)設定になっています。通常はこの状態でお使いください。
「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの検査が頻繁におこなわれるため、ほかのソフトの動作が遅くなることがあります。ウイルスに対して安全な状況であるとわかっている場合、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効にすることができます。
また、パソコンや周辺機器の設定、インターネット接続の設定をするときなどに、ウイルスチェックを停止するよう指示が表示される場合があります。その場合も、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効に設定してください。
「ウイルス/スパイウェアの監視」の有効/無効設定について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルスを見張る」をご覧ください。

チェック!!
パソコンをご購入後、はじめてインターネットに接続してから3日間はユーザー登録をしていなくても自動的にアップデートがおこなわれます。

参照
ウイルスバスターの登録のしかたや、アップデートの方法について→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを使い始める」

チェック!!
「ウイルス/スパイウェアの監視」の有効/無効については、ウイルスバスターのメイン画面で「ウイルス/スパイウェア対策」をクリックして確認できます。

ウイルスバスターは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2010」-「ウイルスバスター 2010を起動」をクリックして起動してください。

その他のウイルス対策ソフトを使う

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使うこともできます。

チェック!!
「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使用する場合は、必ず「ウイルスバスター」を削除(アンインストール)してください。

参照
ウイルスバスターの削除方法について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」の「追加方法と削除方法」

お子様を有害ホームページから守るために

インターネットにアクセスすると、さまざまなホームページを閲覧できます。しかし、有害な情報や違法情報を含むホームページもあります。
このようなホームページへのアクセスを自動的に遮断してくれるフィルタリング機能を使うことをおすすめします。
フィルタリングには、パソコンにフィルタリングソフトを追加して利用する方法と、インターネットプロバイダのフィルタリングサービスを利用する方法があります。お使いのプロバイダがフィルタリングサービスをおこなっているかは、各プロバイダにお問い合わせください。
利用者それぞれに適した設定ができるため、お子様も安心してインターネットを楽しめるようになります。
詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「安全に使うためのポイント」-「お子様を有害ホームページから守るために」をご覧ください。

大切なデータの控えを取っておく（バックアップの方法）

トラブルが起きたときに備えて、大切なデータは控えを取っておきましょう。

ハードディスクの故障やウイルスの感染など、パソコンに大きなトラブルが起こると、保存していたデータが壊れたり消えてしまったりすることがあります。
もしものときに備えて、データの控えを残しておきましょう。このデータの控えのことを「バックアップ」と呼び、バックアップを作成することを「バックアップする」、「バックアップを取る」といいます。

「FlyFolder」は、複数のパソコンのデータを同期させるためのソフトです。このソフトの自動ファイル保存機能を使って、任意のフォルダのファイルをバックアップすることもできます。
指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたび、自動でバックアップデータが作成されます。

FlyFolderでフォルダを指定してバックアップする

FlyFolder使用上の注意

- ご購入時のDドライブの容量は20Gバイトです。大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。
- 外付けハードディスクやネットワーク上の別のパソコンへのバックアップも設定できます。また、BIGLOBEのサービス「オンラインストレージ for FlyFolder」（有償）を活用すれば、インターネット上にバックアップすることもできます。詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。
- 「FlyFolder」を搭載した複数のパソコンで同じ保存設定をしておけば、各パソコンのデータを共有することもできます。詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。
- メールのデータは「FlyFolder」を使ってバックアップすることはできません。
- 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

バックアップするフォルダを指定する

「FlyFolder 設定ツール」を使って、バックアップ先のフォルダ、およびバックアップの対象となるフォルダとファイルの種類を設定する操作について説明します。ここでは、パソコンのDドライブにバックアップする操作を例に説明しています。

あらかじめ、バックアップしたデータを保存するためのフォルダ(バックアップ先フォルダ)を、エクスプローラなどで作成しておいてください。
また、必要に応じて、そのフォルダにアクセス制限を設定しておいてください。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「FlyFolder」-「FlyFolder 設定ツール」をクリック**

「FlyFolder 設定ツール」が起動します。

インストールの画面が表示されたときは、画面の指示にしたがってインストールしてから、次の手順に進んでください。

2 **「次へ」をクリック**

保存先のフォルダに関する設定画面が表示されます。

3 **保存先のフォルダに関する設定をする**

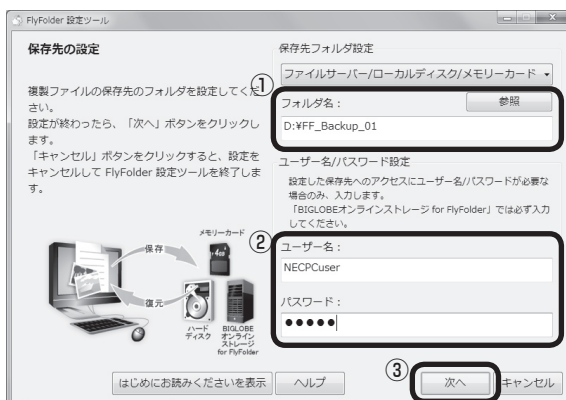
① 保存先フォルダを設定する

「フォルダ名」に保存先のフォルダ名をパスも含めて入力してください。

「参照」をクリックしてフォルダを選ぶこともできます。

② ユーザー名とパスワードを設定する

保存先のフォルダにアクセス制限が設定されているときは、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。

③ 「次へ」をクリックする

「保存対象項目」の一覧が表示されます。

チェック!!

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

チェック!!

・ Windowsの起動ドライブにあるフォルダは、保存先フォルダとして設定できません。
・ ユーザー名とパスワードは、保存先のフォルダに設定されたアクセス制限の内容に合わせて入力してください。

チェック!!

保存設定の削除に関するメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認し「OK」をクリックしてください。

4 **保存したい「対象項目名」に☑が付いていることを確認して、「完了」をクリック**

保存したい「対象項目名」が□のときは、クリックして☑を付けてください。
バックアップが取れるのは、☑が付いているデータだけです。「新しい対象項目名の追加」をクリックすると、自分で購入したソフトなど、パソコン購入時に添付されていたソフト以外のデータを保存対象に登録できます。

再起動を促す画面が表示されます。

5 **「今すぐ再起動」をクリック**

Windowsが再起動します。

再起動後、設定した内容にしたがってバックアップがおこなわれ、その後、「設定した内容を反映します。」というメッセージが表示されます。

6 **表示された内容を確認し、「はい」(または「いいえ」)をクリック**

通常は「はい」を選んでください。初回復元で同じ名前のファイルを上書きしたくないときは、「いいえ」を選んでください。
初回設定(保存先のファイルと保存対象のファイルの照合と復元)がおこなわれます。これで、「FlyFolder」の設定が完了しました。

チェック!!

- 設定が完了すると、設定された内容にしたがって自動的にファイルの保存がおこなわれます。
- 必要に応じて、「FlyFolder」の保存や復元を手動でおこなうこともできます。詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。

その他のバックアップ方法について

著作権が保護されたデータのバックアップを取る

購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。
購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

購入した音楽データのバックアップや退避については、購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。
この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

・ Windowsの「バックアップと復元」を使う
　コントロールパネルの「バックアップと復元」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

チェック!!

・ 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー（バックアップ）できません。
　購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。
・ DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ（PC-AC-DU005C）が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

LaVie Light メニュー

ここでは、「LaVie Light メニュー」についてご紹介します。

「LaVie Light メニュー」には、メールをやり取りするためのソフトや音楽を聴くためのソフトなど、よく使うソフトがまとめられています。また、便利なホームページを集めた「おすすめネットサービス」も表示されます。パソコンの画面で見るマニュアル「サポートナビゲーター」も、ここから起動することができます。

「LaVie Light メニュー」を活用して、このパソコンを使いこなしてください。

「LaVie Light メニュー」の設定は、(設定)をクリックして起動する「LaVie Light メニュー設定画面」でおこなえます。

- 「背景と色」:LaVie Light メニューの背景の画像や、文字の色の変更
- 「ソフトの登録」:LaVie Light メニューへの、ソフトの登録と削除
- 「起動設定」:パソコン起動時にLaVie Light メニューを表示させるかどうか

チェック!!

- 「LaVie Light メニュー」を使用するには、デスクトップの解像度が1024×600以上必要です。
- 「LaVie Light メニュー」は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「LaVie Light メニュー」-「LaVie Light メニュー」もしくは、デスクトップのLaVie Light メニューアイコンをダブルクリックすると起動します。

PART

2

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、外出時に便利な機能など、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、このPARTをご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

モバイルパソコン活用のヒント

ここでは、外出時に便利な機能や情報について紹介しています。

外出先でインターネット

●ワイヤレスLANを利用する

駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。

●WiMAX機能を利用する

インターネットなどのデータ通信をおこなう機能の一つで、ワイヤレスLANとは異なり、広いエリアで利用できます。外出先や移動中にも利用することができます。WiMAX機能を搭載しているモデルのみ使用できます。

また、こういったサービスが提供されない場所でも、通信カードや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスできます。

チェック!!

- ワイヤレスLANサービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。
- WiMAXのサービスを利用するには、別途WiMAXのサービスを提供しているプロバイダとの契約が必要です。サービス内容や利用料金について詳しくは契約しているプロバイダにお問い合わせください。

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。
もし置き忘れなどにより他人の手に渡ってしまったとしても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

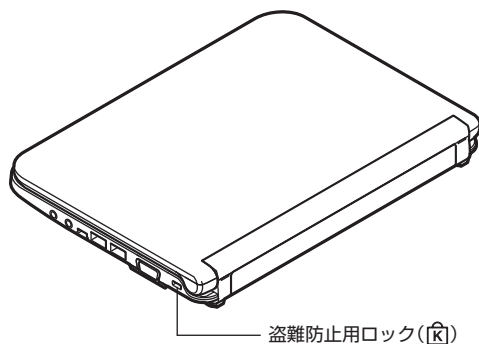
●セキュリティを万全にする

ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンが同一のLANに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、十分なセキュリティ対策をとってください。

●パスワードをかける

BIOS(バイオス)による「パソコン起動時のパスワード」「Windowsの起動セクタを保護するための設定」や「内蔵ハードディスクにパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

●盗難防止グッズを使う

パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS15)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

参照

・「ウイルスバスター」の設定、使い方について→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを使い始める」
・セキュリティについて→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」

参照

「BIOSセットアップユーティリティ」について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOS(バイオス)セットアップユーティリティ」

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でのバッテリ切れは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

●正しい充電でバッテリ性能をキープする

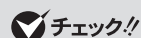
充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、残量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

正しい充電のしかたについて→
「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」

●残量が少なくなったら

ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

・ 電源ランプがオレンジ色に点灯したら
　バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。

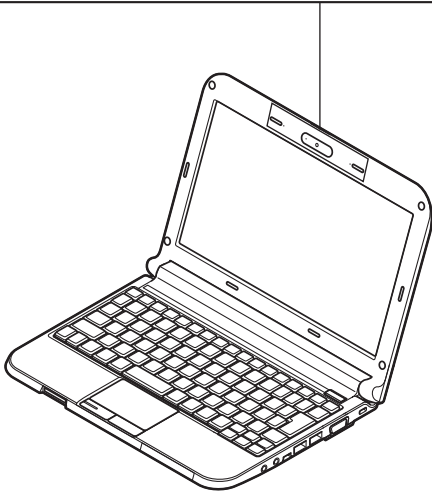
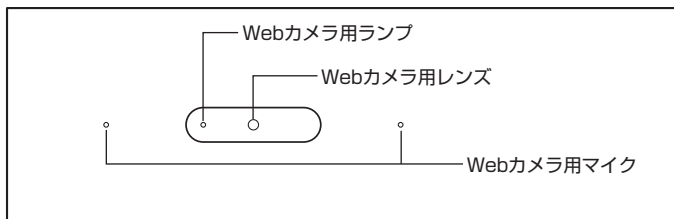
・ 電源ランプがオレンジ色に点滅したら
　バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

パソコン本体がスリープ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

●長時間の外出や出張には

外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。
また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

Webカメラを使う

Webカメラが搭載されているモデルでは、Windows Live Messengerを利用してテレビ電話(ビデオチャット)ができます。

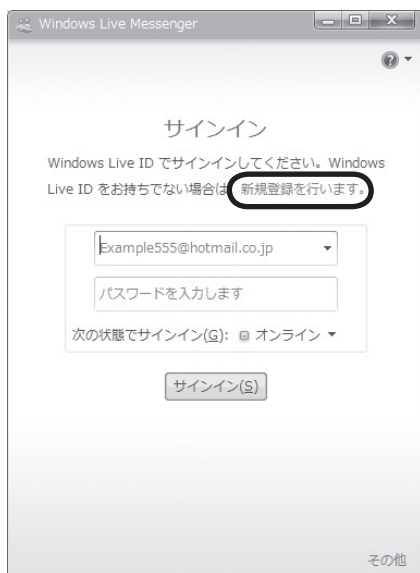
Webカメラは、ディスプレイ上部中央に搭載されており、レンズ、マイク、およびランプで構成されています。レンズで対象を撮影し、マイクで音声を収集します。ランプはWebカメラを使用しているときに点灯します。

チェック!!

ご購入時には、Webカメラのレンズ部に破損防止のための保護用シールが貼られています。Webカメラをご使用になる前に取り外してください。

テレビ電話(ビデオチャット)をする

●テレビ電話の準備をする

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live」-「Windows Live Messenger」をクリック

2 サインイン画面の「新規登録を行います。」をクリックして、IDを登録する

3 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

次回からは、取得したメールアドレスとパスワードを入力すると、すぐに始めることができます。

テレビ電話を開始する場合は、次の「●テレビ電話を始める」の手順3に進んでください。

●テレビ電話を始める

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live」-「Windows Live Messenger」をクリック

2 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

3 画面右上の をクリックし、表示されたメニューから「メニューバーを表示します」をクリック

チェック!!

- テレビ電話を利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。あらかじめインターネットの設定を完了させておいてください。なお、送受信するデータが大きくなるため、FTTHやADSLなどのブロードバンド接続をおすすめします。
- テレビ電話は、相手側にもWebカメラやマイクロフォンなどの周辺機器が必要になります。
- YouCam for NECを使用すると、テレビ電話中に、変形、フレーム、フィルター効果などのエフェクトをかけることができます。
  なお、YouCam for NECを使用しているとテレビ電話フレームレート(コマ数)が低下する場合があります。
  YouCam for NECを使ったテレビ電話の方法については、このPARTの「YouCam for NECを使用する」(p.34)をご覧ください。

参照

YouCam for NECについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「YouCam for NEC」

チェック!!

IDの登録は無料です。

メモ

メールアドレスとパスワードについて詳しくは、Windows Live Messengerのヘルプをご覧ください。

4 「操作」-「映像通話」-「映像通話の開始」をクリック

通話可能なメンバーが表示されます。

5 通話するメンバーを選択し、「OK」をクリック

これ以降の操作は、画面に表示される説明を読みながら操作を進めてください。
また、詳しい操作方法については、Windows Live Messengerのヘルプをご覧ください。

●音声が聞き取りにくいときは

「Windows Live Messenger」でテレビ電話を使用しているとき、ノイズやエコーが入ったり音声が聞き取りにくい場合は、次の方法でクリアな音質での通話ができるようになります。

- 音量調節をおこなう
  音量が大きすぎるとノイズやエコーなどが発生しやすくなります。通話が可能な範囲で音量を少しずつ下げてください。
- ヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを使用する
  ヘッドセットを使用する場合は、次の手順でマイクの設定を変更してください。

1 あらかじめヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを取り付けてから、「Windows Live Messenger」を起動する

2 メニューバーを表示し、「ツール」-「オーディオとビデオのセットアップ」をクリック

「オーディオとビデオの設定-スピーカー /マイクまたはスピーカーフォン」画面が表示されます。

3 「スピーカー /マイクまたはスピーカーフォン」のプルダウンメニューで「ユーザー設定」を選択する

4 使用するスピーカーとマイクをそれぞれ選択し、音量のテストをおこなって適切な値に調整する

5 「完了」をクリックする

これで、設定は完了です。

メモ

- 通話相手がWindows Live Messengerを使っている場合は、その人のWindows Live IDを登録することでメンバーに追加できます。そうでない人も、招待メールで参加を呼びかけることができます。
- パソコンをスリープ状態や休止状態にするときは、その前に「Windows Live Messenger」を終了してください。

チェック!!

【Fn】を押しながら【F10】を押すと音が小さくなり、【Fn】を押しながら【F11】を押すと音が大きくなります。

チェック!!

Windows Live Messengerを終了するまでヘッドセットを取り外さないでください。終了前にヘッドセットを取り外した場合は、Windows Live Messengerを再起動してください。

●YouCam for NECを使用する

YouCam for NECを使用すると、テレビ電話中に、変形、フレーム、フィルター効果などのエフェクトをかけることができます。

1 **「Windows Live Messenger」を起動する**

2 **画面右上のをクリックし、表示されたメニューから「ツール」-「オーディオとビデオのセットアップ」をクリック**

「オーディオとビデオの設定-スピーカー /マイクまたはスピーカーフォン」画面が表示されます。

3 **「次へ」をクリック**

「オーディオとビデオの設定-Webカメラ」画面が表示されます。

4 **「Webカメラ」のプルダウンメニューで「CyberLink Web Camera Filter」を選択する**

5 **「完了」をクリック**

チェック!!

YouCam for NECを使用していると、テレビ電話フレームレート(コマ数)が低下する場合があります。

USB Duet®

USBケーブルを使って、ほかのパソコンとデータを
やり取りすることができます。

USB Duet®について

このパソコンにはUSB Duet®が搭載されています。USB Duet®とは、パソコンのUSB 2.0(Mini-B:USB Duet®専用)コネクタとほかのパソコンのUSBコネクタをケーブルで接続することで、ハードディスクの一部の領域を、接続したほかのパソコンから使用できるようにする機能のことです。USB Duet®を利用すると、接続したほかのパソコンから、データのコピーや受け渡しを通常のハードディスクドライブを扱うのと同じように簡単におこなうことができます。

チェック!!

- USB Duet®を使用するには、市販のUSBケーブル(USB 2.0準拠 Mini-B(5ピンタイプ))が必要です。
- ご購入時の状態では、USB Duet®を利用することができません。USB Duet®を利用するためには、インストールや設定をおこなう必要があります。詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「USBコネクタ」-「USB Duet(R)について」をご覧ください。
- 再セットアップすると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

複数のパソコンを使う

複数のパソコンをお持ちの場合に便利な機能を紹介します。

このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作りほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。
ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。
詳しい内容については、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「複数のパソコンを便利に使う」をご覧ください。

機能	使用するソフト	機能の説明
データを同期・共有する	FlyFolder	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
データをコピーする	USB Duet®	ほかのパソコンとUSBケーブルで接続して、データのコピーや受け渡しを簡単におこなうことができます。
パソコンを遠隔利用する	PCリモーターソフト PCリモーターサーバソフト	ネットワークを利用して、このパソコンから、デスクトップパソコン(VALUESTAR R Luiモデルなど)のデータやソフトを利用できます。

チェック!!

- PCリモーターソフトとPCリモーターサーバソフトでパソコンを遠隔利用するには、対象機種やホームネットワーク環境のご確認、ソフトのインストールなど、必要な準備があります。あらかじめNECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」からダウンロードできる「PCリモーターマニュアル」をご覧ください。
  URL:http://121ware.com/e-manual/m/nx/lvl/201004/pdf/pr/v1/mst/853_811062_001_a.pdf
- PCリモーターサーバソフトは、このパソコンのハードディスクに格納されています。このパソコンから、遠隔利用するデスクトップパソコンにコピーしてインストールする必要があります。

PART

3 再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。
再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。
ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2010」-「ウイルスバスター 2010を起動」をクリック

ウイルスバスターの画面が表示されます。

2 「検索開始」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

3 「閉じる」をクリック

チェック!!
ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、ユーザー登録後、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料で最新のウイルスパターンファイルにアップデートをおこなうことができます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」をご覧ください。

●セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1 **パソコン本体の電源を切る**

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 **パソコン本体の電源を入れる**

3 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

4 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す**

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
ユーザーを複数設定している場合は、ユーザー選択の画面が表示されます。
自分のユーザーアカウントを選んでください。
これで、パソコンをセーフモードで起動することができました。
パソコンを再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

メモ

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。

チェック!!

セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。

●データのバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のソフトは、システムの修復や再セットアップで復元する(正常な状態に戻す)ことができますが、自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはもとには戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法をおこなう前にDドライブ、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに、必ずデータのバックアップを取ってください。
バックアップについて詳しくは、PART1の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの方法)」(p.22)をご覧ください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック**

2 **「システムの復元」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

「システムの復元」の画面に「別の復元ポイントを選択する」がある場合、この項目を◉にして「次へ」をクリックすると一覧から使用したい復元ポイントを選択できます。復元ポイントを選んで「次へ」をクリックしてください。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順2で「次へ」をクリックしたときに一覧が表示された場合は、一覧から使用したい復元ポイントを選んで「次へ」をクリックします。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

3 **「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック**

4 **確認の画面が表示されたら「はい」をクリック**

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。

しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

5 **「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック**

これで、システムの復元は完了です。

メモ

Dドライブは、ハードディスクの中にありますが、システムの復元やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

チェック!!

- Cドライブの領域を変更して再セットアップ、ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどへデータのバックアップを取っておいてください。
- ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

チェック!!

- システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる」(p.39)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモードで起動してください。その後、システムの復元をおこなってみてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.41)の手順6 で、「システムの復元」をクリックしてください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

●「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

●「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピューターの修復」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 **「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック**

5 **自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック**

パスワードを設定していない場合は、パスワードは入力しないで「OK」をクリックしてください。

6 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック**

「スタートアップ修復」が始まります。

7 **修復が終わったら「完了」をクリック**

8 **「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する**

チェック!!

強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコン内にあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

●こんなことができます

・Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます(Dドライブのデータは保護されます)

●こんなかたにおすすめ

・再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の14項目の作業を連続しておこないます。項目によっては(　)内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約30分〜 1時間※)
   ※再セットアップ方法によっては1時間30分程度かかることがあります。
8. Windowsの設定をする(約30分〜 1時間)
9. Office Personal 2007を再セットアップする(Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデルのみ)(約10分〜 20分)
10. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
11. 市販のソフトをインストールしなおす
12. バックアップを取ったデータを復元する
13. インターネット接続の設定などをやりなおす
14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

チェック!!

・ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど)した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
・この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります(p.40)。
・再セットアップは中断しないでください。
・再セットアップすると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

再セットアップする

●バックアップは終わっていますか?

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。

●再セットアップを始めたら、途中でやめない!

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。
途中でやめてしまうと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

参照

バックアップについて→PART1の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの方法)」(p.22)、このPARTの「データのバックアップを取る」(p.40)

1. 必要なものを準備する

次のものを準備してください。

- 「Microsoft® Office Personal 2007」CD-ROMとプロダクトキー(Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデルのみ、パソコンに添付されています)
- 『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

「データのバックアップを取る」(p.40)でバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップを取り忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

3. インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザー ID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバ
- ニュースサーバ

必要に応じて、LAN の設定を控えてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー１」の欄に控えておきます。

	ユーザー名
ユーザー 1(1人目)	
ユーザー 2(2人目)	
ユーザー 3(3人目)	
ユーザー 4(4人目)	

チェック!!

・ 家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。
・ ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。

5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。
手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.75)をご覧ください。

6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレススイッチをオフにしてください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

7. システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

1 パソコン本体の電源を切る

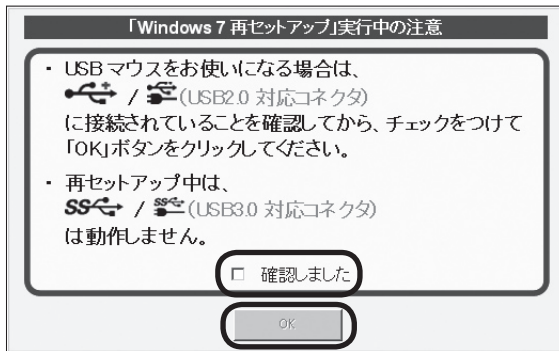
通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

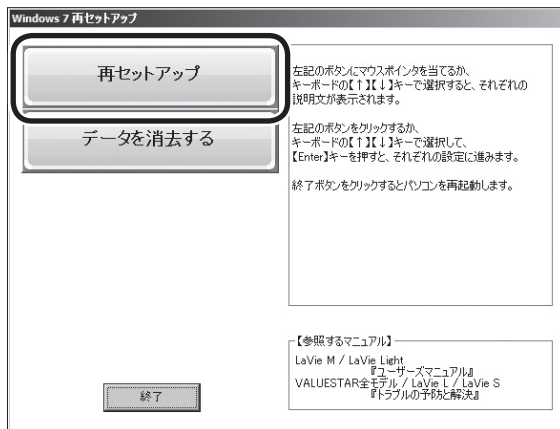
2 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

チェック!!

操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

4 「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

5 「Windows 7 再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

6 「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック

7 確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック

再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

「パソコンを再起動します。」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

チェック!!

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

チェック!!

- 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順6からやりなおしてください。
- メモリースロットにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、メモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。

8 「パソコンを再起動します。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windows の設定をする」へ進んでください。

8. Windowsの設定をする

1 ユーザー名を入力する画面が表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力し、「次へ」をクリック

2 パスワードを設定する画面が表示されたら、何もしないで「次へ」をクリック

3 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリック

4 「コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」をクリック

5 「ワイヤレスネットワークへの接続」と表示された場合は、「スキップ」をクリック

しばらくすると、何度か再起動して、「NECのパソコン設定のご案内」と表示されます。

6 「NECのパソコン設定のご案内」が表示されたら、➡をクリック

画面右下に「コンピューターのセキュリティを確認してください」と表示されることがありますが、ここではメッセージをクリックせずに、セットアップを進めてください。

7 「LaVie Light メニューの設定」が表示されたら➡をクリック

パソコンを起動したときに「LaVie Light メニュー」を表示させたい場合は、「パソコン起動時にLaVie Light メニューを自動で表示する」の□をクリックして☑にしてください。

8 「インターネットエクスプローラー ホームページの設定」が表示されたら、BIGLOBEホームページまたはYahoo!JAPANホームページのいずれかを選択して◉にし、➡をクリック

セットアップが終わってから、インターネットで最初に表示するホームページを変更することもできます。

9 「フィルタリング利用のご案内」の画面が表示されたら、内容を確認し、➡をクリック

これで再セットアップでのWindowsの設定は完了です。

チェック!!

「パソコンを再起動します。」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7. システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

チェック!!

パスワードは手順2では、入力しないでください。Windowsのセットアップ作業が終わってから設定します。

チェック!!

- 「LaVie Light メニュー」の自動起動は、セットアップ完了後にも「LaVie Light メニュー」で設定できます。
- 「LaVie Light メニュー」について詳しくは、PART1の「LaVie Light メニュー」(p.26)をご覧ください。

チェック!!

Windowsの設定が終了したら、セキュリティ対策のため、Windowsのパスワードを設定することをおすすめします。パスワードの設定については『セットアップマニュアル』の「Windowsのパスワードを設定する」をご覧ください。

Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデルの場合は、続けて「9.Office Personal 2007を再セットアップする」に進んでください。
その他のモデルの場合は、「10.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす」(p.48)へ進んでください。

9. Office Personal 2007を再セットアップする
(Office Personal 2007 2年間ライセンス版搭載モデルのみ)

チェック!!

- Office 2007の再セットアップには、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。あらかじめ、パソコン本体に外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)を取り付けておいてください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

Office Personal 2007のインストール

1 Office Personal 2007のインストールCD-ROMをセットする

2 「自動再生」が表示されたら「SETUP.EXEの実行」をクリック

「自動再生」が表示されない場合は、「スタート」-「コンピュータ」をクリックし、DVD/CDドライブのアイコンをダブルクリックして、手順3に進んでください。

3 プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック

「プロダクトキー」は、CD-ROMケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。

4 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」のライセンス条項にご同意いただければ、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリック

5 「ユーザー設定」をクリック

6 「Office 共有機能」横の⊞をクリックして「Microsoft Office IME(日本語)」横の▼をクリックし、「インストールしない」をクリック

7 「今すぐインストール」をクリック

インストールが始まります。

8 正常にインストールされた旨のメッセージが表示されたら「閉じる」をクリック

インストールCD-ROMをDVD/CDドライブから取り出してください。

・Office IME 2007 について

Office IME 2007 を間違ってインストールした場合、サポート対象外となります。以下の手順でWindows 標準のMicrosoft IME に切り換えてください。

1. IME のツールバーを右クリックし、「設定」をクリック
2.「全般」タブの「追加」をクリック
3.「日本語(日本)」-「キーボード」-「Microsoft IME」をチェック

4.「OK」をクリック
5.「全般」タブの「既定の言語」で、「Microsoft IME」に変更
6.「全般」タブの「インストールされているサービス」で、「Microsoft Office IME 2007」を選択して「削除」をクリック
7.「OK」をクリック

Office 2007 Service Pack 2のインストール

Office Personal 2007のインストールが完了したら、次の手順でOffice 2007 Service Pack 2をインストールします。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンド プロンプト」を右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」をクリック

2 コマンドプロンプト上で
C: ¥APSETUP ¥012SP2 ¥qfe2*00*7.bat
と入力し、「Enter」を押す

文字の入力は、英字のオー(O)と数字のゼロ(*0*)の違いに注意してください。ここでは、区別しやすくするためにゼロを斜体で表記しています。画面に表示される文字の形とは異なります。

この後は、画面の説明を読んでインストールを開始してください。

再セットアップ後、Office Personal 2007を最初に使用するとき

Outlook 2007やWord 2007などのソフトを最初に使用するときは、ライセンス認証に関する画面が表示されます。表示された内容をよく読んで、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

10. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

11. 市販のソフトをインストールしなおす

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

チェック!!

- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- インストール完了まで5 ～ 10分程度かかります。インストール完了のメッセージが表示されるまで、ウィンドウを閉じないでください。
- インストールが完了すると再起動します。ほかのソフトを起動している場合、あらかじめすべて終了させてからこの手順を実行してください。
- インストールが終了したら、必ずMicrosoft Update を実行し、最新の状態にしてください。Microsoft Updateについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「Windowsを更新する」をご覧ください。

チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

12. バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.40)でバックアップしたデータを復元してください。

13. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。

14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows UpdateやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコン内にあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.42)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。
Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・Cドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・ハードディスクの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 「再セットアップする」(p.43)の「1.必要なものを準備する」~「7.システムを再セットアップする」の手順1 ~ 5までの作業をおこなう

2 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

チェック!!

- この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
- Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。再セットアップ前にCドライブとDドライブで構成されていたハードディスクはCドライブのみになります。
- ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加、削除など)した場合、この方法での再セットアップはできません。
- 再セットアップすると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。
- 再セットアップディスクを使ってCドライブの領域を変更して再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
  作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

3 **「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップが始まり、再起動を求める画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.46)以降の説明を参考にしてください。

これで、Cドライブの領域を変更して再セットアップする作業は完了です。

再セットアップディスクを作成する

ここでは、再セットアップディスクの作成手順を説明します。

再セットアップディスクとは

再セットアップディスクの作成には、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。

再セットアップディスクは、ハードディスク内の「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データを、DVD-Rなどのディスクに移したものです。ご自分で作成する必要があります。
次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップディスク」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクが故障した場合**
- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**

再セットアップディスクでできる再セットアップについては、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.56)をご覧ください。

チェック!!
通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.42)をご覧になり、この方法で再セットアップしてください。

再セットアップディスクを作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2 ～ 3時間程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

未使用のDVD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順3(p.54)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  DVD-R ディスクの場合:4.7G バイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5G バイトのもの
- **同じ種類のディスクを用意してください。**
- **次のディスクは使用できません。**
  CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+R(2層)、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM
- **各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。**
  URL:http://nx-media.ssnet.co.jp/

市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

●スクリーンセーバーが起動しないようにする(Windows 7 Home Premiumモデルの場合)

次の手順で設定を変更します。
1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」の[x]をクリック

チェック!!
再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

チェック!!
ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

●スクリーンセーバーが起動しないようにする(Windows 7 Starterモデルの場合)

次の手順で設定を変更します。

1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デザイン」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」の✕をクリック

●起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)

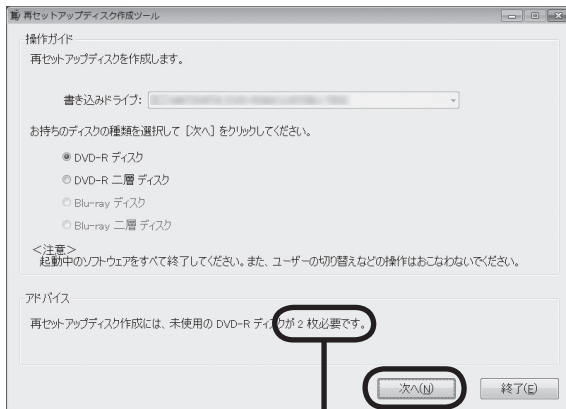
終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

作成の手順

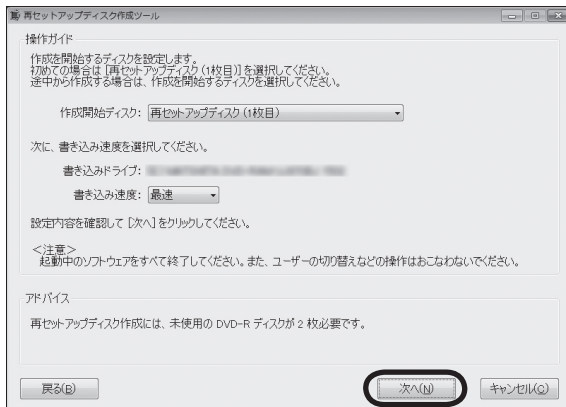
1 パソコン本体に別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)を取り付ける

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

3 ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

チェック!!

- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- 「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
  再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
  - 再セットアップディスクを使用して、Cドライブの領域を変更して再セットアップした場合
  - 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

4 **設定内容を確認して、「次へ」をクリック**

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

5 **用意したディスクをセットする**

アクセスランプが消えるまで待ってください。

6 **「作成開始」をクリック**

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

7 **「OK」をクリック**

8 **ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する**

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

「再セットアップディスクをすべて作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

チェック!!

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

チェック!!

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクを使ってできることを説明します。

再セットアップディスクを使って再セットアップするには、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)が必要です。

●こんなことができます

・ Cドライブのみの再セットアップ
・ Cドライブの領域を変更して再セットアップ
・ パソコンを購入時の状態に戻す
・ パソコンのハードディスクのデータを消去

それぞれについて詳しくは、次ページの「再セットアップディスクでできること」をご覧ください。

●こんなかたにおすすめ

・ パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・ パソコンを購入時の状態に戻したいかた
・ Cドライブの領域を最大にして利用したいかた

チェック!!

再セットアップすると、USB Duet® の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

再セットアップディスクでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないますが、ハードディスクの故障などで専用のデータが使用できない場合には、あらかじめ作成しておいた再セットアップディスクを使って再セットアップをおこないます。
また、再セットアップディスクを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

参照
再セットアップディスクについて→「再セットアップディスクを作成する」(p.52)

Cドライブのみ再セットアップ

Cドライブの領域のみ再セットアップをおこない、Dドライブの内容は再セットアップをおこなう前の状態のまま残します。「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.42)で説明している内容と同じです。

Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

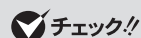
Cドライブの領域サイズを設定できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約2時間～3時間かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

チェック!!
- この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。
- 再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。

ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 7標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。
消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

チェック!!
ハードディスクのデータを消去する前に、BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.75)をご覧ください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。

参照
パソコンの処分について→『セットアップマニュアル』の「パソコンの売却、処分、改造について」

●かんたんモード(1回消去)

ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

●しっかりモード(3回消去)

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

●しっかりモードプラス（3回消去+検証）

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

チェック!!

- どの方法でも、ハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。
- データ消去方式を選択する画面に、データの消去にかかる目安時間が表示されます。
- ハードディスクのデータ消去で1台目の消去を選択すると、USB Duet®の共有ドライブと、共有ドライブに保存されたデータが削除されます。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

1. 作成した再セットアップディスクを用意する
2. 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.42)を読み、「1.必要なものを準備する」から「6.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう
3. パソコン本体に別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU005C)を取り付ける
4. パソコン本体の電源を入れる
5. 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする
6. 「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

   「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。
7. 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

   ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。
8. 目的の再セットアップのボタンをクリック
9. 以降は、画面の指示にしたがって操作する

   「再セットアップ」を選んだ場合は、再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面か、再起動を求める画面が表示されます。

   再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

   ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

   「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。
10. 「8.Windowsの設定をする」(p.46)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする

    「14.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

チェック!!
再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

チェック!!
通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

チェック!!
ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

チェック!!
「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

PART

4

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードやACアダプタをコンセントから抜いて、NECにご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇このPART「トラブル解決 Q&A」

◇このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/をご覧ください。

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windows 7に関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。
http://support.microsoft.com/gp/cp_fixit_main/jaをご覧ください。

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

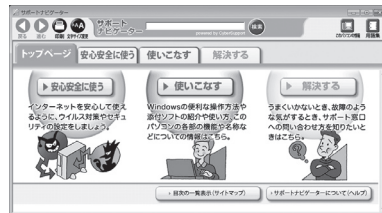
どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECのサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

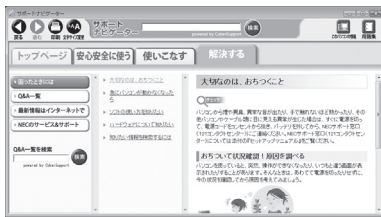
「サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」を活用してください。

「サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法

タスクバーの アイコンをクリック

次に「サポートナビゲーター」の「解決する」をクリック

●使い方

画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。
画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「使いこなす」-「パソコン各部の説明」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源コードを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

ピーッというエラー音がした

ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、なにも作業をしていないときに、ハードディスクが自動的に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題はありません。
また、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスク クリーンアップを実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

メモ
データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は、『セットアップマニュアル』の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は『セットアップマニュアル』の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

1. 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す
2. 表示された画面で、「タスクマネージャーの起動」をクリック
「Windows タスクマネージャー」の画面が表示される
3. 「アプリケーション」のタブをクリック

チェック!!
動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態や内蔵ドライブアクセスランプ( )が点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ
画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.71)をご覧ください。

4 **右側に「応答なし」と表示されているソフト(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリック**

この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

強制的に電源を切る

1 **パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける**

通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 **5秒以上待ってから、電源スイッチを押す**

電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。そのほかのメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。

3 **Windowsが起動したら、「スタート」をクリック**

4 **「シャットダウン」をクリック**

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度4秒以上パソコンの電源スイッチを押し続けてください。

それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については『セットアップマニュアル』をご覧ください。

チェック!!

- 「Windows タスクマネージャー」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクが故障することがあります。

チェック!!

うまく起動できなかった場合は、「PART3 再セットアップ」(p.37)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

キーボード、NXパッド

キーボードやNXパッドが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

キーボードのキーを押しても、NXパッドに触れても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが◎の形に変わっていませんか?

マウスポインタが◎の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードやNXパッドの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

しばらく待ってもキーボードやNXパッドの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.65)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

NXパッドが反応しない、または反応が鈍い

指先やNXパッドが汚れていませんか?

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

NXパッドの2か所以上に同時に触れていませんか?

NXパッドの2か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません(マルチタッチ・ジェスチャーでの操作を除く)。1か所だけに触れるようにしてください。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示や内蔵ドライブアクセスランプ( )が点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

キー入力をしながらNXパッドを操作しようとしていませんか？

ご購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のNXパッドのタップ操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、次の手順で設定を変更してください。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック**
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 **「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップを無効にする」のチェックを外す**

3 **「OK」をクリック**

これで、キー入力時にNXパッドを操作できるようになります。

USBマウスを接続していませんか？

ご購入時の状態では、USBマウスを接続するとNXパッドの機能が無効になるように設定されています。USBマウスを外すか、次の手順でNXパッドを有効にする設定を変更して、USBマウス接続時にもNXパッドの操作ができるようにしてください。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック**
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 **「USBマウス接続時の動作」タブをクリック**

3 **「USBマウスと同時に使用する」を選ぶ**

4 **「OK」をクリック**

これで、NXパッドが有効になります。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外す

バッテリパックの取り外し方については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

2 そのまましばらく放置した後、バッテリパックを取り付け、電源コードを正しく接続しなおす

3 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

チェック!!

放電を確実におこなうため、電源コードはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

通常の方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.65)をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.66)の操作をおこなってください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えているとき。または、点滅しているとき

パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

パソコン本体の電源コードなどは正しく接続されていますか？

一度、電源コードをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源コードなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

バッテリパックは正しく取り付けられていますか？

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度バッテリパックの取り付け状態を確認してください。

バッテリは十分充電されていますか？

電源コードを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。電源コードを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。電源コードを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

チェック!!

電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなることがあります。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

パソコン本体の電源ランプが青色に点灯しているとき

キーボードのキー（【Shift】など）を押すか、NXパッドに触れてみてください。

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっていませんか？

「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

外部ディスプレイを接続していませんか？

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】＋【F3】または【 】＋【P】を押すか、設定画面で画面の出力先を変更してください。手順については、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧ください(出力先を設定画面で変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)。
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

「Windows 拡張 オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。
セーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」- ▶ -「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。「PART3 再セットアップ」(p.37)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる」(p.39)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows 7 Starter」(Windows 7 Home Premiumの場合は、「Microsoft Windows 7 Home Premium」)を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。
このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。
Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

外付けのDVD/CD-ROMドライブなどに、CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

CD-ROMなどを取り出してから、何かキー（【Enter】など）を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。
CD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。「PART3 再セットアップ」(p.37)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。

1 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 キーボードの【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

4 表示された画面で「はい」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 表示された画面で「はい」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!

「BIOSセットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOS(バイオス)セットアップユーティリティ」

チェック!!

- 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。
- ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F2】を何度か押してください。

省電力機能

省電力状態（休止状態 / スリープ）からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（休止状態/スリープ）に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

コマンドプロンプトがアクティブのときにスリープ状態から復帰させたが画面が表示されない

【Alt】＋【Tab】を押してタスクを切り換えると、正常に動作するようになります。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容は消えてしまう場合があります。

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

- 液晶ディスプレイを閉じた
- 省電力状態にした
- 電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

参照

省電力機能について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

Cドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリが消耗したとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

- 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- プリンタで印刷しているとき
- サウンド機能により音声を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

チェック!!
省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

マウスを操作してもスリープ状態から復帰しない

マウスをUSBコネクタ( )(パワーオフUSB充電機能対応)に接続していませんか？

パワーオフ充電機能をオンにすると、パワーオフUSB充電機能対応のUSBコネクタにマウスを接続した場合、スリープ状態のときにマウスで復帰できなくなります。

パスワード

Windows を起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「パスワードをお確かめください。」と表示される

(キャップスロックキーランプ)や(ニューメリックロックキーランプ)の状態を確認してください。

パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
また、ニューメリックロックがオンになっていると、キー上面に青色で表示されている数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。

参照

キャップスロック、ニューメリックロックについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「キーボード/ワンタッチスタートボタン」-「キーの使い方」

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないで➡をクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウント管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。

詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードは忘れないよう、十分注意してください。

チェック!!

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

コンピュータウイルスに感染した場合は、すぐにインターネット接続のために使っているLANケーブルなどをパソコンから取り外し、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」を使って、ウイルスを駆除し、被害を届け出ましょう。
届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX:03-5978-7518
E-mail:virus@ipa.go.jp
URL:http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL:03-5978-7509

参照
「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」

パソコンを落とした

外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードをコンセントから抜いて、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される場合は、不要なデータを削除してCドライブの空き領域を増やしてください。
不要データを削除する方法のほかに、再セットアップのための領域を利用してCドライブの空き領域を増やす方法があります。詳しくはPART3の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.56)をご覧ください。

付　録

バッテリリフレッシュについて

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。
バッテリについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。
バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。
・バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

チェック!!
バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときにおこなってください。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使う

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使って、バッテリ性能の低下を抑えるためのリフレッシュと現状の性能診断をおこなうことができます。

1 **パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをコンセントに差し込む**

2 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ &診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「今すぐ開始」をクリック**

5 **「はい」をクリック**

バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。

6 **診断結果を確認**

「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリ交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリを交換してください。

参照
バッテリリフレッシュについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」

チェック!!
・バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
・バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。
・バッテリリフレッシュは、BIOS(バイオス)セットアップユーティリティからもおこなえます。
・バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。

索引